

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月13日(金)

事務事業		奨学資金支給事業		担当課	教育総務課	担当係	企画調整係	管理番号	70161	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市奨学資金給与条例				
	小項目	1	「生きる力」を育む学校教育の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		進学の意志と能力を有しながら経済的な理由により修学が困難な者を奨学生に認定し、公立高等学校授業料相当額を奨学金として給与する。また、家庭環境の急変により修学が困難な高校生等に対し、修学奨励資金を給与する。								
目的 ※何のために		教育の機会均等を図る。有用な人材の育成を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		進学の意志と能力を有しながら経済的な理由により修学が困難な高校生等								
手段 ※どのように		奨学生の出願期間終了後、市長は、奨学資金給与選考委員会の答申に基づき奨学生を決定し、奨学金を給与する。								
成果 ※何を求めるか		奨学金を給与することにより、高等学校等へ修学できる体制を整える。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	1	教育総務費	1	教育委員会費	奨学資金支給事業	1,795,700
本事業の 主な業務		・周知PR					・			
		・申請受付					・			
		・選考委員会の開催					・			
		・給与証授与式					・			
		・奨学資金支給					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画		奨学資金給与選考委員会の開催給与証授与式の開催奨学資金給付	奨学資金給与選考委員会の開催給与証授与式の開催奨学資金給付	奨学資金給与選考委員会の開催給与証授与式の開催奨学資金給付				
事業費	予算（現額）	3,305,000	3,135,000	3,254,000	2,541,000			
	決算額	2,527,300	2,141,700	1,795,700	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	2,527,300	2,141,700	1,795,700	2,541,000		
人件費	従事職員数（人）	0.21	0.21	0.21	0.21			
	人件費相当試算※	1,652,607	1,682,135	1,726,671	1,790,842			
総事業費試算		4,179,907	3,823,835	3,522,371	4,331,842			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
	目標値	実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	新規申請者数	目標値	人							
		実績値		13.00	9.00	7.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値を設定することは、制度の趣旨に合致しないため / 新規申請者数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	新規認定者数	目標値	人							
		実績値		10.00	8.00	4.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値を設定することは、制度の趣旨に合致しないため / 新規認定者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	支給対象者総数	目標値	人							
		実績値		21.00	19.00	17.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値を設定することは、制度の趣旨に合致しないため / 各年度の奨学生名簿							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

#### (1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	新規申請者数は、前年度に比べ2名減少した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新規認定者数は前年度に比べ4名減少した。 また、支給対象者数は、前年度に比べ2名減少した。
			評価者 企画調整係長 竹内 祐子

#### (2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	事業の周知PRについては、制度の概要を分かりやすく伝えるチラシ等を作成し、本制度を必要とする方への確に周知できるよう、周知方法について見直す必要がある。
			評価者 企画調整係長 竹内 祐子